理療理論（基礎理療学）シラバス

（専攻科理療科３年次に履修）

【授業目標】

鍼及び灸施術の意義、治効理論について理解し、施術を効果的に行う能力と態度を養う。

【授業の概容】

鍼はなぜ痛みに効果があるのか、灸をするとなぜ冷え症が改善するのかなど、鍼灸施術が私たちの身体にどのように作用し、症状を改善するのかを現代医学に基づいて学習する。

◇使用教科書（出版社）：「基礎理療学Ⅲ（新版理療理論）

　　　　　　　　　　　　第二巻　―はりきゅう理論の部―」（岡山ライトハウス）

◇総時間：70時間（２単位）

◇指導計画

|  |  |
| --- | --- |
| 月 | 単元・題材名 |
| ４ | 鍼灸施術の意義道具としての鍼、鍼の方式・手技・術式、古刺法艾について、灸の種類 |
| ５ |
| ６ | 鍼灸施術の臨床応用(刺激量と感受性、治療的作用など) |
| ７ | 鍼灸の作用機序　鍼灸刺激と痛覚・温度感覚・触圧覚など　鍼と鎮痛の機序　灸と炎症反応 |
| ９ |
| １０ |
| １１ | 関連学説(ストレス学説、圧発汗反射など) |
| １２ | 鍼灸刺激の身体各組織・器官に及ぼす影響 |
| １ | 鍼灸施術の特殊治効理論(経絡と経穴の現代医学的研究) |
| ２ | 総復習 |